

オイスカ

in 四国
www.oisca-shikoku.org/

2014. Oct.
vol.13



あなたも参加しませんか？オイスカサポートの輪

大好き日本の食卓 ● No.5 天ぷらうどん

推進協議会の活動報告

- ◎ 香川東
- ◎ 高松
- ◎ 坂出
- ◎ 徳島県
- ◎ 中讃
- ◎ 高知県
- ◎ 綾川
- ◎ 三豊

ボランティアから見た
四国研修センター

広がる友好の輪！
バンダラデシユと
四国支部



Cultivate the Future
大地と共に、もったいなく

食卓	日本の	大好
卓	の	き
●		

No.5:天ぷらうどん



スヤデイさん(50)
インドネシア出身

農業担当。インドネシアのスクアム研修センターで農業のアドバイザーとアグロフォレストリーの担当をしてきました。どうぞよろしくお願いたします。

日本の食べ物について

わたしは、オイスカ四国研修センターにきて、いちばん好きな食べものができました。それはうどんです。今は大好きですが、初めてうどんを食べたときは気持ちが悪くてあまり食べられませんでした。ですが、何度か食べているうちにだんだんおいしく感じるようになりました。今では、センターの食事会でうどんがでるのを楽しみにしています。

うどんはそのままかけうどんを食べるのもおいしいですが、わたしは天ぷらうどんが好きです。わたしはセンターで農業の担当をしていて、たくさん野菜を作っています。その自慢の美味しい野菜を天ぷらにしてうどんといっしょに食べると最高です。野菜は春・夏・秋・冬で変わるのでもったいなくありません。日本では4つの季節それぞれで食べ物の特徴があつてとてもおもしろいです。



研修センターで栽培した有機野菜の天ぷらうどん

皆さまにもわたしが作った野菜を天ぷらなどいろいろな料理をして食べていただきたいです。
また、今までにうどんの作り方も地元の人たちに教えてもらって覚えられたので、3年後になります、国へかえったとき、家族や友人に天ぷらうどんをつくって食べさせてあげたいとおもいます。



オイスカの会員・支援者になって国際協力活動に参加しませんか？

OISCA オイスカが進める人材育成、海外開発協力、「子供の森」計画および啓発普及活動は、長期的な取り組みが必要です。継続的なご支援をお願いいたします。

今すぐできる支援の方法は5つ 無理なく続けられる方法をお選びください

■ 支援内容 支援に関する詳細は <http://www.oisca.org/support/> または下記問い合わせ先にご連絡ください

1 毎月の継続寄附	毎月500円でオイスカ活動をトータルサポート。8月に年次報告書が届きます。 ●ワンコインサポーター.....500円×12カ月 ※月々の自動引き落とし 毎月2,000円からのオイスカ活動トータルサポート。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。 ●マンスリーサポーター.....2,000円×12カ月 ※2,000以上、任意(1,000円単位)の金額で月々の自動引き落とし
2 自由な寄附	各種活動の推進のための寄附です。時期、金額(1,000円以上)、回数は自由で、支援する事業をお選びいただけます。 ●海外開発協力事業 ●「子供の森」計画事業 ●人材育成事業 ●啓発普及事業(国内の森づくりなど啓発普及全般) ●啓発普及事業(海岸林再生プロジェクト) ●トータルサポート1,000円~(いつでも何度でも) ※1,000円以上のお申込みで、金額は任意となります。
3 「子供の森」計画支援	年間1口5,000円で「子供の森」計画を支援してくださる方を募集。支援証、活動を伝えるニュースと現地の子どもたちからのグリーンティンクカードが届きます。 ●「子供の森」計画支援.....5,000円/年
4 賛助会員	オイスカの活動に賛同し、ともに歩んでくださる方を募集。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。 ●維持会員.....20,000円/年 ●特別会員.....50,000円/年
5 集めて送る	自宅にいながら参加できるボランティアです。ベルマークは1点=1円で「子供の森」計画に、書き損じはがきは各種活動推進のために使われます。 ●ベルマーク ●書き損じはがき

問い合わせ先

◆四国支部	〒760-0017 香川県高松市番町2-7-15 第二讚機ビル2F	TEL:087-821-1503
◇高松推進協議会	〒760-0017 香川県高松市番町2-7-15 第二讚機ビル2F	TEL:087-821-1503
◇坂出推進協議会	〒762-0011 香川県坂出市江尻町1721-10[(株)石井内]	TEL:0877-45-0141
◇三豊推進協議会	〒769-1502 香川県三豊市豊中町笠田笠岡3915-3[(株)イナダ内]	TEL:0875-56-6001
◇香川東推進協議会	〒769-2304 香川県さぬき市昭和5806[高松東ファクトリーパーク さぬき市管理組合内]	TEL:0879-52-5070
◇中讃推進協議会	〒763-0034 香川県丸亀市大手町3-2-1[四国電力(株)丸亀営業所内]	TEL:0877-22-5973
◇綾川推進協議会	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1[オイスカ四国研修センター内]	TEL:087-876-3333
◇徳島県推進協議会	〒770-8555 徳島県徳島市寺島本町東2-29[四国電力(株)徳島支店総務課内]	TEL:090-3181-0158
◇高知県推進協議会	〒780-0870 高知県高知市本町1-6-24[高知商工会議所総務部内]	TEL:088-875-1177
◆四国研修センター	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1	TEL:087-876-3333

バングラデシュと四国支部

オイスカ四国支部 会長 石井 淑雄

バングラデシュと四国香川は、文化交流をはじめさまざまな協力連携で相互理解を深めています

2013年7月～9月、瀬戸内国際



再会を喜ぶ職人や芸術家と私たち

芸術祭(略称・瀬戸芸)のバングラデシュプロジェクトに参加する同国の職人や一部の芸術家延べ2500人が、オイスカ四国研修センターに宿泊しました。研修センターでは職員が一丸となり、不慣れた日本での滞在が快適なものになるように生活支援をするとともに、地元の綾川町立陶小学校の皆さんとの交流会や県内の名所旧跡、広島平和記念公園への訪問など日本文化にも触れる機会を設けました。四国支部では、香川県知事ご出席のもと歓迎会を開催、ミニコンサート、送別会なども盛大に行いました。

四国支部では、瀬戸芸で築いた友好の輪をさらに広げるべく同10月に開催した「オイスカ四国のつどい」に駐日バングラデシュ大使館、ベビーラ・ニカルマカー等書記官に出席していただきました。また、瀬戸芸期間中には研修センターに滞在するなどオイスカへの理解を深めていた



モメン大使。大使を慕うオイスカ四国支部の役員

を再び訪れてくださいました。

日本で出会ったバングラデシュの皆さんから「我が国を訪問してください。ご案内します」と言われ続けられました。それを受け、2014年6月22日～28日にはバングラデシュの多くの関係者の方々からのご招待をいただき、宮崎博文副会長、柿沼瑞穂啓発普及部長(前四国研修センター所長)と私の3人でバングラデシュを訪問しました。6月24日はバングラファウンダーシヨンのチャンドラ・シヤハさん始め研修センターに滞在した職人と芸術家が集まって会合を開いてくださり感動の

再会をはたしました。バングラデシュを代表する国民的なフォークシンガー、チャン・ダナ・ロイさんが歌で歓迎をしてくださいました。全員との再会を喜ぶと共に、日本で貴重な体験をしたこと、日本の皆さんがとても親切にしてくださいましたこと、オイスカの気遣いで滞在がスムーズにできたことなど、まるで昨日の出来事のように熱く語って下さいました。最後にお互いに贈り物を交換し、また会うことを約束しました。



カルマカー一等書記官「オイスカ四国のつどい」ではバングラデシュ一行の日本滞在への協力したことにオイスカに感謝の言葉をかけていただきました

バングラデシュとは 33年に渡る友好の絆があります

日本の4割ほどの国土に、約1億7千万人が暮らし、25歳未満が75%を占めるバングラデシュは急成長が見込まれている新興国の一つです。滞在中に、その力の源

※バングラデシュ・プロジェクト

「瀬戸内国際芸術祭」はアートを道しるべに、島々を巡りながら、瀬戸内海の風景と、そこで育まれた島の文化や暮らしに出会う現代アートの祭典。2013年7月20日から9月1日、メイン事業の一つとして「バングラデシュ・プロジェクト」と銘打った高松港アート工房(ベンガル島)では、バングラデシュの特色ある手工芸、踊り、歌などが披露された。

ボランティアから見た 四国研修センター

研修生・スタッフ、心は一つ!



普段、総会・FURUSATO誌などでセンターや研修生の事をお話させていただいていますが、今回はそこではお伝えできていないセンターの“日常”をボランティア目線でご紹介いたします。

現在、四国研修センターには海外研修生9名、スタッフ6名(なんと今年からは男女1名ずつの外国人スタッフも)、常勤ボランティア2名が在籍しています。なのでセンター内では至る所で人が走り回っていたり、コーヒーを飲みながら話していたり、歌っていたりととても賑やかです。なかでも今までの生活改善コースから発展して新しく始まった地域開発コースは、「農業」「調理」「食品加工」「リーダーシップ」など、これまでと比べ学ぶ分野が広くなりました。このコースは女性に限定していませんので、男性も参加しています。わたしはその中で日本語を教えています、難しい質問に頭を悩ませたり、日本語の伸びに驚いたりしながら研修のサポートをしています。

また、センターは日頃からたくさんのボランティアの方に支えられておりますが、センター業務や長期的な目線で考えるとスタッフが足りていないのが現状です。スタッフを捉まえるのに一苦労されたご経験がある方も多いのではないでしょうか。最近はず



長期ボランティアも少ないですが、常勤ボランティアは(わたしもその一人ですが)研修生と寝食・研修も共にして、毎日研修生に教えることばかりです。夜遅くまで勉強している姿や自国と日本への関心の深さを見ると、わたしももっと頑張らなければと感じます。

このようにセンターでは忙しい日々が続きますが、それだけ充実しており、日本から世界への繋がりを感じることができます。四国支部の会員増強に負けずにスタッフ増強にも力を入れて、ボランティアだからできる、より多くの人と活動していけるような環境づくりをしていけたらと思います。

残り2ヵ月ほどになった地域開発コースの研修をはじめ、様々な活動に力を入れてまいりますので、今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。そして、皆さまのご来所を研修生・職員一同心よりお待ちしております!!きっと皆さまも新鮮な発見が出来ることと思います。

国際協力ボランティア 永山 妙

何でも作っちゃいます!



香川—香川東

会長 富田 義雄

ミャンマーの活動報告

ミャンマー研修センターを最初に訪問して10年になります。2014年5月30日(金)から株式会社クロダ黒田会長と富田でミャンマーバコック県エサジョ郡の農村を視察にゆきました。中央乾燥地帯の厳しい気候の中、農業の生産性も低く生活環境も以前と変わらず電気のない農家もあります。志度ライオンズクラブが寄付した小学校訪問、



テーボン西小学校で久しぶりの再会



2005年の開校式に生徒で出席していた少女数名から学校建設の感謝の言葉を聞き熱いものを感じました。ミャンマーの農村を豊かにする事業をお手伝いして2年の年月が流れました。現在工場建設用地の選定、リーダー養成など基礎の部分をがんばって、1年後には形ができる予定で進めています。



エサジョ郡長と会談、事業の協力依頼

香川—綾川

会長 大方 義裕

「オイスカのタベ」開催

今年の活動計画の一つである勉強会を「オイスカのタベ」と銘打って8月23日、午後7時よりオイスカ四国研修センターにて開催しました。勉強会は会員の皆さまやオイスカに興味を持っている方々にオイスカをより理解していただくため、今回で三度目の開催になります。第一部は、萬代所長の講演と、マレーシア出身職員のカディ氏に「マレーシアのオイスカ研修センターの活動



オイスカの歴史について説明する萬代所長



40名で茶話会を実施しました。研修生手作りのシホンケーキやお菓子が出来、アトラクションでは、会員からは皿回し、研修生からはダンスと大いに盛り上がり、予定の時間を30分もオーバーして閉会しました。オイスカ綾川推進協議会は、オイスカ四国研修センターの地元です。今後も研修センターを中心とした活動を行って参ります。皆さまの参加をお待ちしています。



会員披露の皿回し。研修生も挑戦しました



オイスカ理解を深めた茶話会。好評でした

香川—高松

会長 木村 大三郎

各地で活動パネル展示を実施

今年度、高松推進協議会ではオイスカの知名度向上に取り組みため、高松市内の各地で活動パネル展示を実施しています。4月28日(月)～5月2日(金)、高松市役所で開催された環境活動展では、支部主催のまんのう町「尾の瀬山・オイスカ憩いの森」植林活動や「子供の森」計画などのパネル展示。8月6日(水)～8日(金)、四国旅客鉄道株式会社にご協力いただきJR



香川県内をはじめ国内外での活動パネルを展示



高松駅で、海岸林再生プロジェクトのパネル展示と募金協力お願いチラシなどの配布を行いました。9月21日(日)、香川県国際交流会館(アイパル香川)で開催された「かがわ国際フェスタ2014」では、海外植林活動や四国研修センターを紹介するパネルを展示。10月6日(月)～10日(金)、高松空港で、海岸林再生プロジェクトのパネル展示と募金協力お願いチラシなどの配布を行いました。なお、11月13日(木)には、会員相互の親睦交流と四国研修センター支援を目的に、チャリティーゴルフ大会を実施予定です。ぜひ多くの方に参加していただき、オイスカについて理解を深めてくださいましたら嬉しいですね。



かがわ国際フェスタ



前回のチャリティーゴルフ大会

香川—三豊

会長 稲田 寛

「学生市場」に出店

6月29日に三豊市高瀬町六ツ松亭にて、香川大学地域マネージメント研究科の大学院生達が、地域活性化の実践として取り組む学生市場を初めて開催しました。魅力ある三豊の産物を食べてもらい、全国に広めていくのが目的です。当日は「三豊発!! さぬき軽トラ市」のメンバーや地域の生産者が、マンゴ・レモン・野菜などを出店し、1400人の賑わいとなりました。オイスカ研修センターも出店し、朝取れ野菜と卵・スポンジケーキ・ジャムを販売しました。研修生たちは足を止める人たちに「朝4時から収穫した朝取れ野菜ですよ。私達が作りました」と声をかけ、オイスカのPRをしていました。この実験的な学生市場の取り組みは今後も開催し、自慢できる商品を紹介して地域の人々にビジネスへのヒントになればとの思いで取り組んだイベントでした。



三豊市高瀬町六ツ松亭にて、香川大学地域マネージメント研究科の大学院生達が、地域活性化の実践として取り組む学生市場を初めて開催しました。



大勢の来場客で賑わう学生市場 新鮮な有機栽培野菜や卵などをPRする研修生

写真提供/週刊みとよ。ほんまもんRadio!

香川一坂出

会長 宮崎博文

総会のお礼とお知らせ

去る6月18日(水)第4回オイスカ坂出推進協議会総会が会員など60名余り参加のもと開催されました。佐藤忠義本部・支部顧問、石井四国支部会長様はじめ17名の御来賓を迎え、永くオイスカをご支援くださっています會員の皆さまと年一度の懇親をさせていただきました。昨年度はオイスカ四国支部活動の二本柱の一つ會員増強では厳しい経済状況の中、31名の増



7カ国8名の研修生を招待した懇親会

員を達成することができました。これも坂出推協役員をはじめ各会員様のご協力の賜物とこの紙面を借りまして御礼申し上げます。今年度目標39名、総会員数170名に頑張ってください。さて、坂出推協では坂出白峰ライオンズクラブとの共働コラボでインドネシア・ロンボク島にて3回目の海外植林と学校建設に取り組みつつあります。これは坂出白峰LCが来期50周年を迎える記念事業の一つとして計画しています。これもオイスカ四国支部の長年に渉る国際親善、協力の御蔭であります。来年の夏には参加者を募集いたしますので、ご参加をお待ちいたしております。



総会には他推進協議会からも出席いただきました



会員と研修生、共にチキンダンスで盛り上げました

香川一中讃

会長 中野百合子

丸亀お城まつりでの活動

中讃推進協議会は昨年続き丸亀市最大のイベント「丸亀おしろまつり」に参加しました。5月3日・4日晴天のもと、今年は過去最高の人出で約21万人が来場しました。お城大手門前の「丸亀城下町こだわり大物産展」で昨年大好評だったパキスタンカレーを研修生・研修センター職員・中讃会員・丸亀観光大使の中野美奈子(中讃会員)で販売し、準備していた700



素晴らしい五月晴れの下、皆でオイスカPR

食売できませんでした。またこの人出はオイスカにとって絶好の広報活動のチャンスと捉え、ブースに立ち寄ってくれる方々にパンフレットの配布、海岸林再生プロジェクト10カ年計画の協力をお願いしました。今後もお城まつりを有意義な活動として継続していこうと思っております。ご支援ご協力をお願いいたします。



民族衣装に身を包んでカレー販売。ナマステ〜!

徳島一徳島県

会長 岡田典子

「阿波おどり」に研修生を招待

8月13日、女性部が「阿波おどり交流」に四国研修センターの研修生とスタッフの15名の皆さんを招待しました。今年、10名が「よんでんグループ連」、5名が「にわか連」(島市観光協会主催)と2つのグループに分かれて参加しました。「よんでんグループ連」参加者は、「よんでん阿波おどり広場」で一踊りした後、徳島市阿波おどり演舞場で最長(170m)の「両国本町演舞場」に踊り込みました。



よんでんグループ連での阿波踊り。お見事!!



同連の平野連長からは「初めてなのに隊列を乱さず、踊りも上手で、とてもよかったです!」と高い評価をいただきました。一方、「にわか連」参加者は、まずNHK階で「熱演!真昼の阿波踊り」の最終出演の娯茶平連を見学し、フィナーレの総踊りで観光客の皆さんと共演しました。その後「にわか連」に加わり、こちらも「両国本町演舞場」へ踊り込みました。両グループとも観客の声援を受けながら、疲れも見せず笑顔で踊りきり、終了後はそれぞれの体験を楽しく語り合っていました。



「踊らにゃ損損」息を合せての練習風景



交流夕食会での楽しい一時。ありがとうございました

高知一高知県

会長 青木章泰

オイスカを広く知ってもらうために

8月25日(金)に「夏休み親子ふれあい木工教室」を開催した。これは子供たちの夏休みの研究・学習の支援と自然環境への理解を深めることを目的に、四国森林管理局との共催で毎年実施しているもの。当日は、親子36名が参加した。行事の一つである「積み木教室」を四国研修センターの研修生7名が担当し、子供たちは、積み木



三種類の積み木を手に夢中で作品作りの子どもたち

シャワーを体験したり、思い思いの作品作りを楽しんだ。この様子は地元TVに取り上げられ、オイスカのPRが出来た。また、高知県では初めてとなる「子供の森」計画の子供親善大使(インドネシア、ミャンマー)との交流を10月7日(火)に高知市の介良小学校で行う予定である。当協議会では、こうした活動を通じてオイスカ事業を支援していただく方が、一人でも多くなることを期待している。



木の香りと温もりに、最高の笑顔の積み木シャワー